

## 6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・年末のポ-ナス商戦で新機種が出そろったため、客 の購入意欲が高まった。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・駅前的大型商業施設の開店景気も一段落し、来街者 数が平常時に戻った。クリスマスの週末も天候に恵ま れ、例年以上の人通りで商店街はにぎわった。
		一般小売店〔鮮 魚〕（従業員）	単価の動き	・魚の仕入単価が例年の年末相場より低くなっており、 粗利が確保できた。売上も前年の大雪による減少 を取り返して余りある状況である。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・歳暮やクリスマスギフトの売上は例年より4、5割 増加し、単価も1、2割は上昇している。ギフトには 上質な物を贈りたいという客の心理が顕著に見受けら れる。一方、暖冬のため、コート類は前年並みで推移 した。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・暖冬が続いたため、婦人セーターやカットソーなど の動きがとて良かった。また、春物の先取り商品も 20日前後からクリスマスにかけて好調で、前年の 120%となった。ただ、クリスマス後は1月2日からの クリアランスを見越し、商品チェックや買い控えが目 立った。
		スーパー（店 長）	それ以外	・クリスマスケーキやしめ縄、しめ飾りなどの販売量 が増えた。特に事業所関係の注文が多く、しめ縄は前 年まで中・小サイズが中心であったが、今年は特大に 移行している。
		高級レストラン （スタッフ）	販売量の動き	・前年は12月中旬に大雪が降って散々だったが、今年 は暖冬のため安定した集客があった。また例年に比べ ても、単価の高い月になった。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・レストラン、一般宴会の利用客数が大幅に増加し、 また客単価も上昇しており、増収が見込まれる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・月の前半は暖冬で暇な日が続いたが、中旬から週末 に忘年会が集中し、飲酒運転の取締りが厳しかったこ とも加わり、大変忙しかった。	
	変わらない	スーパー（総務 担当）	販売量の動き	・前年は12月中旬に降雪があったため、除雪用品や防 寒衣料などがよく売れたが、今年は暖冬のため苦戦が 続いた。しかし、月末に雪が降り、ようやく盛り返し た。
		スーパー（副店 長）	単価の動き	・来客数は前年の93%、客単価は同101%である。客 単価が前年超えとなったのは、軽衣料やファッション ブーツなど、雪がなくても身に着けられる商材を前面 に出して品ぞろえしたためである。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・今年は天候が良かったため、悪天候の前年に比べ、 来客数は3%増加した。来客数が前年同月を上回った のは15か月ぶりである。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・来客数は微増が続いているが、客単価は低下傾向が 続いている。客は所得が伸びないためか、安い商品を 求めて、他のコンビニだけでなく、ドラッグストアな どへも買い回りしている。
コンビニ（経営 者）		販売量の動き	・天候も安定し、暖かかったため、来客数も順調で、 売上は前年比104%で推移している。ただし、前年は 大雪の要因があるため、一昨年と比較してみると1% の増加である。前月に続き、弁当、おにぎり、パンは 好調であったが、前年大雪の影響で好調だった手袋や 衣料関係は半減した。また、価格競争の厳しい飲料、 雑貨は苦戦している。	
衣料品専門店 （経営者）		販売量の動き	・今年3月の大手百貨店撤退により、客の一部が当店 に移行したため、売上は上がっているものの、景気が 良くなったという実感はない。	
家電量販店（経 営者）		販売量の動き	・前月に続き、テレビ、洗濯機が好調である。従来と 違う傾向としては年末需要の電球、蛍光灯で省エネ型 の明るい商品が単価アップに貢献し、照明関連の売上 が増加している。	
乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・既存車種の販売が落ち込むなかで、今月発売された やや高級なタイプの新型車種はユーザー層がある程度 限られているため、大幅な販売増になっていない。		

	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・販売台数は前年同月比で伸びているものの、前年は月中に大雪があったためであり、受注動向は厳しい。	
	住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・暖冬のせいで客足はよく、売上は前年を上回っているが、前年は大雪の影響で非常に悪かったためであり、単純には比較できない。前々年と比べると、まだ悪い。	
	その他専門店 [酒](経営者)	販売量の動き	・12月は歳暮の時期であるが、前年、前々年と比較すると、販売量、来客数とも徐々に減少している。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・月前半は1人、2人の小人数の来店客が多く、極めて悪かった。駅前周辺の店に客が流れているように見える。ただ、団体や貸切の日が数回あったため、月全体の売上は前年をわずかに上回る状況である。客のなかで定年を迎えた人が増えているせいか、客の絶対数が減っている。	
	旅行代理店(従業員)	単価の動き	・海外旅行のニーズは感じられるが、全体として盛り上がりは見られない。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・前年は大雪の影響でキャンセルが続出したため、前年との比較では来場者は増加しているものの、前々年と比較すると2、3か月前の状況と同様に2けた近い減少となっている。	
	美容室(経営者)	お客様の様子	・客からはボーナス支給額に対する不満をよく耳にする。	
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・受注は前年に比べ20%減少した。競争激化のため、投入人員を前年以上に増やしても、成果が上がらない。1人の客に多くの業者が群がっている感じがする。	
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・住宅需要は安定してきている。ローコスト住宅も一巡し、ここへ来て中・高級住宅も売れている。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数の減少が止まらない。	
	一般小売店[書籍] (店長)	単価の動き	・ここ数か月は来客数が増えているにもかかわらず、客単価は逆に低下している。	
	スーパー(店長)	販売量の動き	・前年の12月は雪のため年末商品の先買いなどにより客単価が上がり、売上増となった。しかし、今年は暖冬のため客も年末商材の購入を急がず、また鍋料理の野菜の動きが鈍いため、客単価の落ち込みが特に大きい。	
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・中心商店街の通行量は12月になっても目立った増加が見られない。客の商品に対する選び方も非常に慎重である。	
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・法人顧客、サラリーマン顧客共に、賞与支給額の様子眺めに終始し、購入の決断がはっきりしない月であった。結果的に引き合いは前年並みであったが、受注量は減少した。	
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・前年の雪の影響を考えるともう少し良くなっていてもよいはずであるが、今月は曜日に関係なく落ち込んでいる。競合店の影響、人手不足による営業短縮など、経営環境は決して良いとはいえない。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・月の後半に入っても雪が降らず、足場が良過ぎたため、タクシーの利用は少なかった。忘年会も例年より静かであった。	
	パチンコ店(店員)	単価の動き	・1人当たりの遊技費、遊技滞在時間が少なくなってきている。	
	その他レジャー施設(職員)	単価の動き	・施設内での客単価、商品単価共に下降傾向にある。	
	悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・歳末商戦に入っても、暖冬の影響もあり、なんとなく年末という感じがしない。クリスマスギフトは例年並みに盛り上がったが、歳暮では縮小傾向が見られる。衣料品は「年明けのバーゲン待ち」の雰囲気強い。
企業動向関連	良くなっている	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合いから成約に至る確率に若干の変化はあるが、11月に開催された見本市以後の状況や成果は思いのほか堅調である。
	やや良くなっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・スポーツ、アウトドア及び婦人関係の受注が予想以上に堅調である。加えて自動車関連商品にも動きがある。

	輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年に比べ売上高や営業利益などが良くなっている。依然として軽油高は不安であるが、このままの価格で推移すれば、何とか利益も確保できそうである。	
変わらない	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売単価が上がっていない。主に同種の安い商品の荷動きが目立つ。ここ数月は同じように推移している。	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・来春の新企画商品の動きが非常に良い。	
	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・原材料価格は若干落ち着いてきたが、受注は伸びていない。	
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来に比べ眼鏡の受注が増えている客先がある反面、年度末へ向けて在庫調整を行っている先もあり、全体的には現状維持の状態である。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・元請、下請工事とも、年末工期の工事を完成させるために、11月ごろから土曜日、祝日も返上で施工に当たってきた。しかし、採算は相変わらず厳しく、「貧乏暇なし」の感がする。	
	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・暖冬の影響で、冬物商品が動かなかったため、前年に比べて物量が減った。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・建設業の収益性が悪化してきている。	
やや悪くなっている	会計事務所（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・不動産賃貸業では、テナント（物販・サービス業等）からの賃料値下げ要求がなかなか止まらない。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・当八ローワークにおける就職率は約45%で、最近では最も高い数値となった。また、高校生の就職内定率も84.6%と順調に伸びている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・依然として、臨時的、一時的な補充としての派遣要請が多い。
		求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	・派遣スタッフの募集は常に多い状況であるが、正社員の募集があまり伸びていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・地方では製造業などの有効求人倍率がよい傾向を示しているが、民間企業の流通・サービス関連の広告量は下り坂となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月とほぼ横ばいで、正社員の求人も伸び悩んでおり、求人と求職に雇用形態のミスマッチが生じている。
	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・内定者数は前年と変わらない。	
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	